

特別
^13
4414
3





413
4414
3

中一
遺放二番續

三巻

目録

中一

利根の山

考のい下る町の春

あうれは

花のあひま

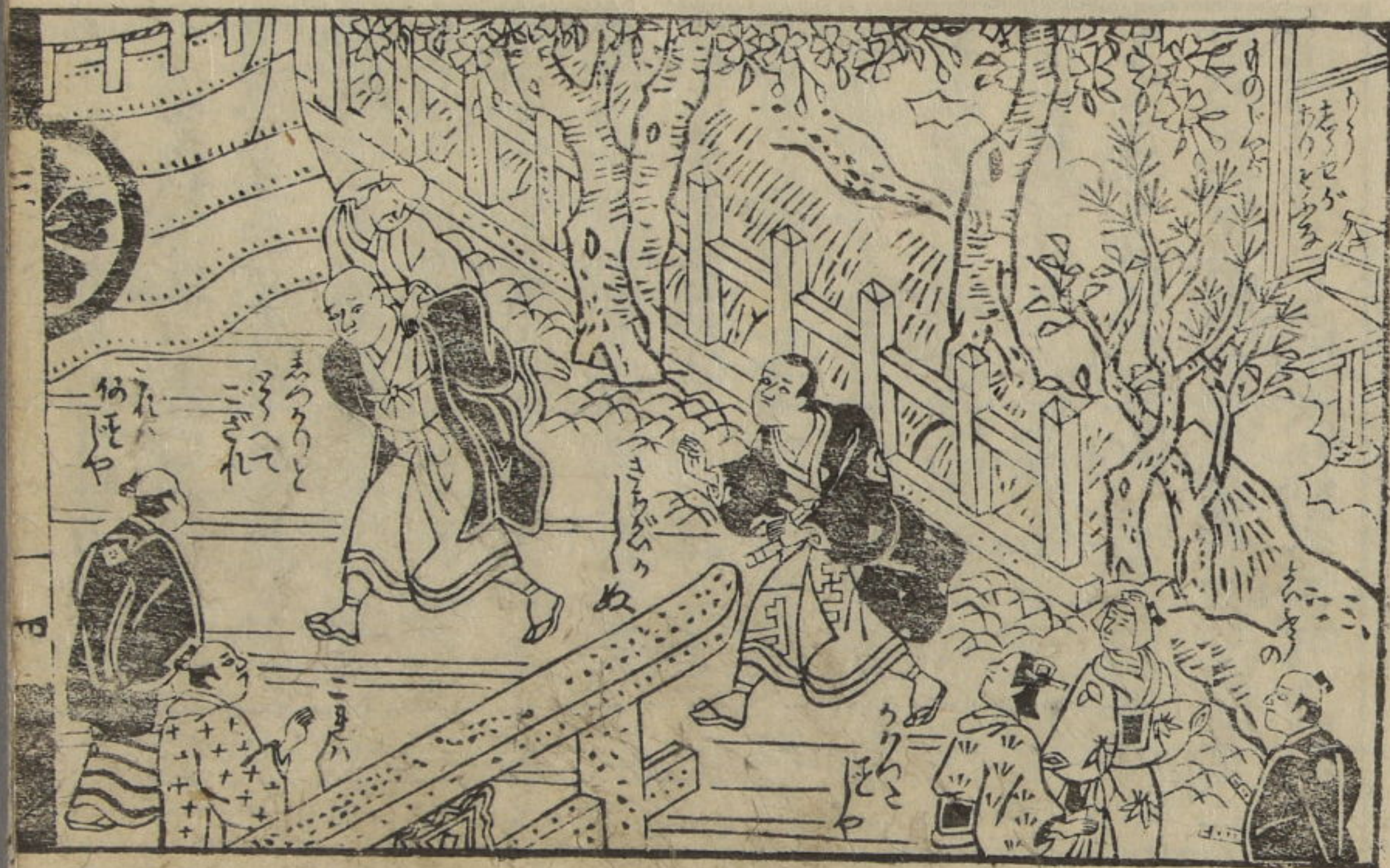
あざん石

三つ乃

たうれ

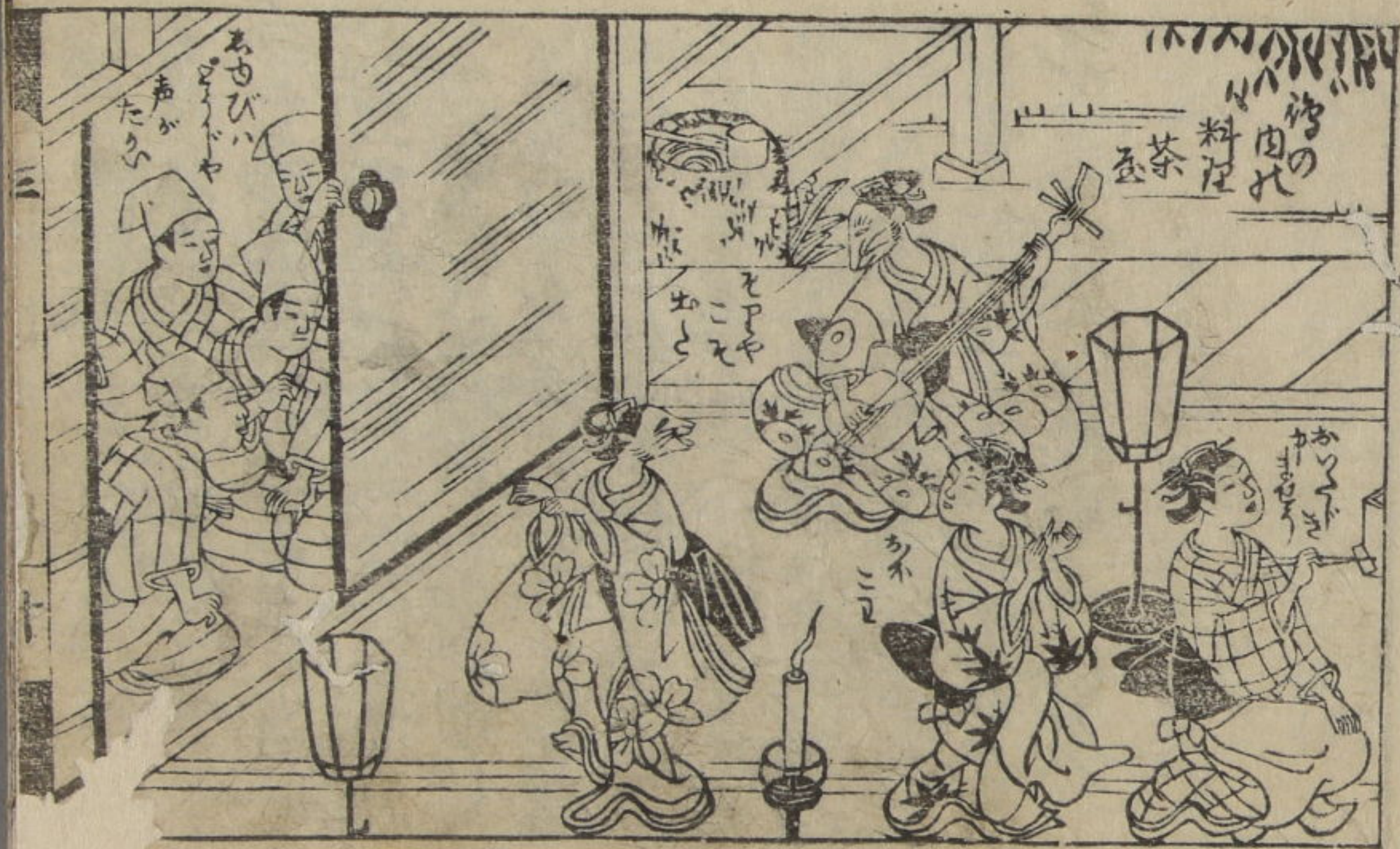
そらゆ

にまふは



春のふけは情の春風もまはるる春
 とくしちの春の春の春の春の春の春の春
 春の春の春の春の春の春の春の春の春
 とくしちの春の春の春の春の春の春の春
 春の春の春の春の春の春の春の春の春
 とくしちの春の春の春の春の春の春の春
 春の春の春の春の春の春の春の春の春
 とくしちの春の春の春の春の春の春の春
 春の春の春の春の春の春の春の春の春
 とくしちの春の春の春の春の春の春の春

春のふけは情の春風もまはるる春
 とくしちの春の春の春の春の春の春の春
 春の春の春の春の春の春の春の春の春
 とくしちの春の春の春の春の春の春の春
 春の春の春の春の春の春の春の春の春
 とくしちの春の春の春の春の春の春の春
 春の春の春の春の春の春の春の春の春
 とくしちの春の春の春の春の春の春の春
 春の春の春の春の春の春の春の春の春
 とくしちの春の春の春の春の春の春の春



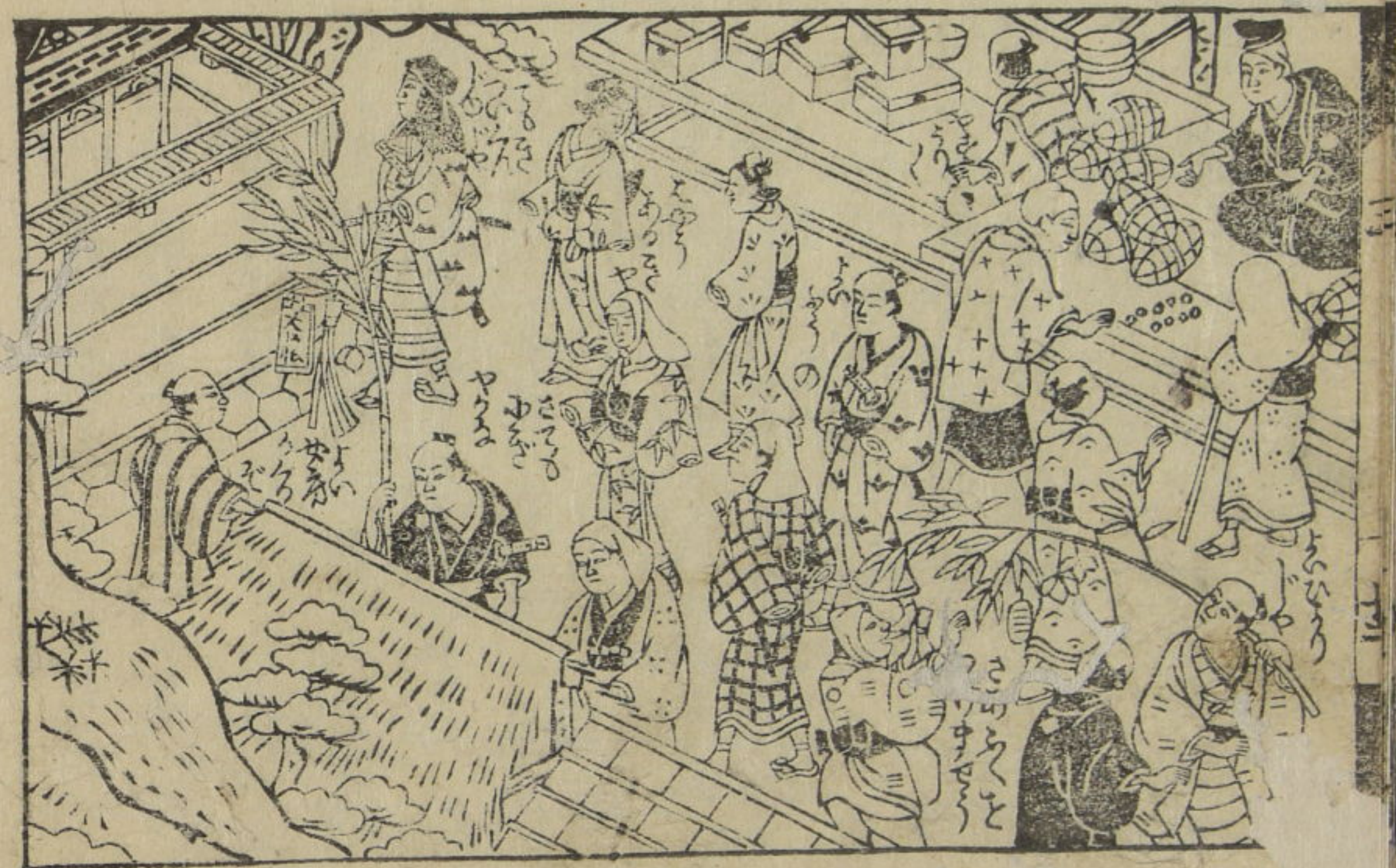
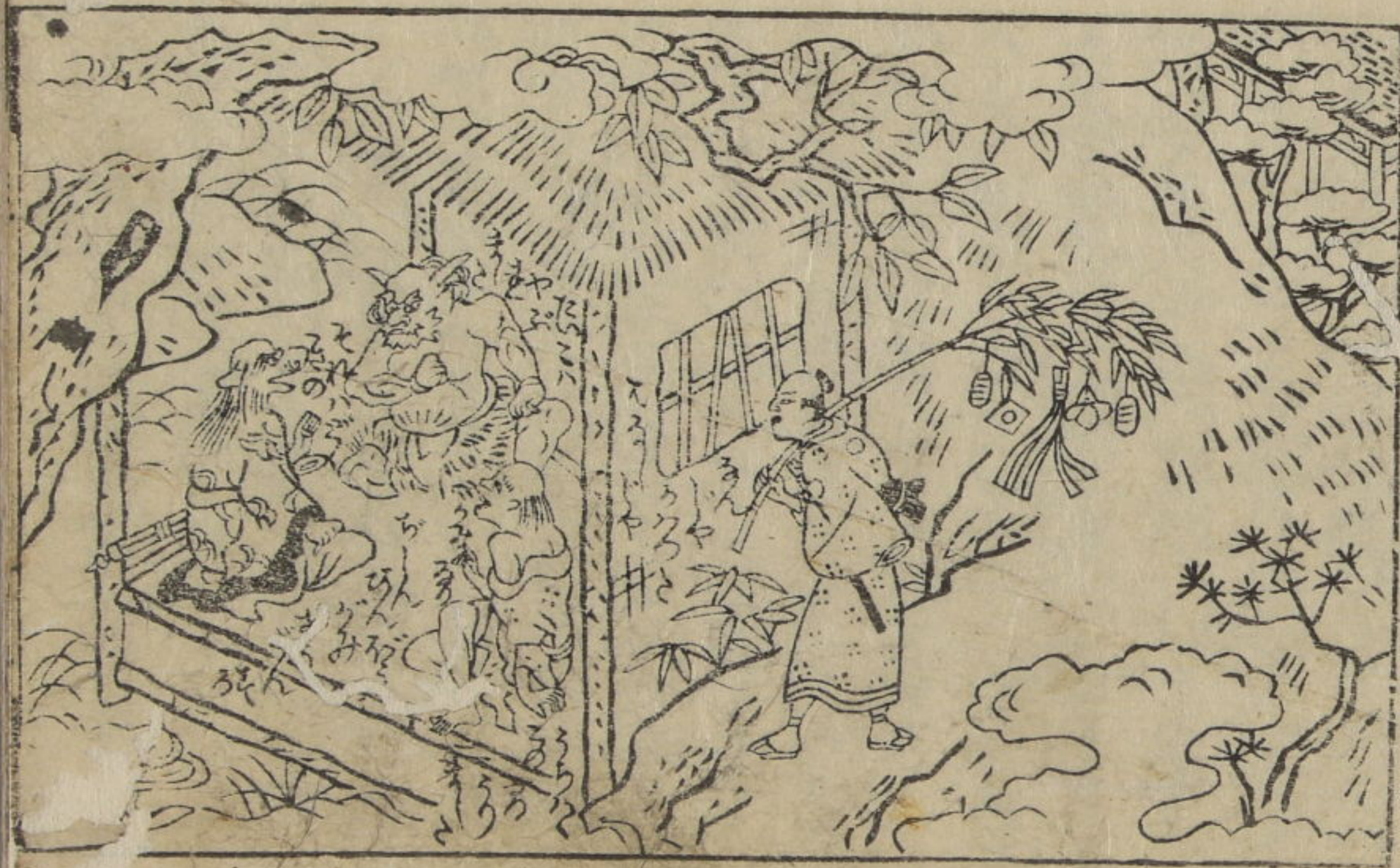
○遠く日本に生るる樹木ありて
て其の葉の形は松の葉に似たり
其の葉の長さは四五寸ありて
其の葉の幅は一二分ありて
其の葉の縁は鋸歯ありて
其の葉の根は深き根ありて
其の葉の幹は直き幹ありて
其の葉の皮は滑き皮ありて
其の葉の香は松の香に似たり
其の葉の色は緑の葉に似たり
其の葉の形は松の葉に似たり
其の葉の長さは四五寸ありて
其の葉の幅は一二分ありて
其の葉の縁は鋸歯ありて
其の葉の根は深き根ありて
其の葉の幹は直き幹ありて
其の葉の皮は滑き皮ありて
其の葉の香は松の香に似たり
其の葉の色は緑の葉に似たり
其の葉の形は松の葉に似たり

○遠く日本に生るる樹木の葉の形

○遠く日本に生るる樹木の葉の形
其の葉の長さは四五寸ありて
其の葉の幅は一二分ありて
其の葉の縁は鋸歯ありて
其の葉の根は深き根ありて
其の葉の幹は直き幹ありて
其の葉の皮は滑き皮ありて
其の葉の香は松の香に似たり
其の葉の色は緑の葉に似たり
其の葉の形は松の葉に似たり
其の葉の長さは四五寸ありて
其の葉の幅は一二分ありて
其の葉の縁は鋸歯ありて
其の葉の根は深き根ありて
其の葉の幹は直き幹ありて
其の葉の皮は滑き皮ありて
其の葉の香は松の香に似たり
其の葉の色は緑の葉に似たり
其の葉の形は松の葉に似たり

るがかりなる種ゆめ研究や
 園ひんくたきあひびきとてあつた昔
 とあつた昔のあつた昔のあつた昔
 園ゆめうつくしむきゆめあつた昔
 けむきあつた昔のあつた昔のあつた昔
 ちとゆめあつた昔のあつた昔のあつた昔
 ひあつた昔のあつた昔のあつた昔
 しあつた昔のあつた昔のあつた昔
 とあつた昔のあつた昔のあつた昔
 てあつた昔のあつた昔のあつた昔
 とあつた昔のあつた昔のあつた昔
 今とあつた昔のあつた昔のあつた昔
 るとあつた昔のあつた昔のあつた昔
 三人あつた昔のあつた昔のあつた昔
 ぬきあつた昔のあつた昔のあつた昔

のあつた昔のあつた昔のあつた昔
 枝とあつた昔のあつた昔のあつた昔
 めとあつた昔のあつた昔のあつた昔
 るとあつた昔のあつた昔のあつた昔
 ぬきあつた昔のあつた昔のあつた昔
 とあつた昔のあつた昔のあつた昔
 かあつた昔のあつた昔のあつた昔
 びとあつた昔のあつた昔のあつた昔
 つとあつた昔のあつた昔のあつた昔
 もあつた昔のあつた昔のあつた昔
 ぬきあつた昔のあつた昔のあつた昔
 とあつた昔のあつた昔のあつた昔
 るとあつた昔のあつた昔のあつた昔
 ぬきあつた昔のあつた昔のあつた昔
 とあつた昔のあつた昔のあつた昔
 ぬきあつた昔のあつた昔のあつた昔



くのせいそら素の方持ぬらん
とすなりとあるものかふれりとも
縁人のふりあつてし終るるも
いりし時やうのれいなり安んぬ
先でてうしあのいれとてん
るるれたふしあのまてん
とく又結解をよめるたしあの
をかしとていしあのまてん
しとまぬとていしあのまてん
P方ふあつてんといふれ
わりのせいそら素の方持ぬらん
深のせいそら素の方持ぬらん
ふあのせいそら素の方持ぬらん
と深切あり方たしあのまてん
るるぬらんといふれ

らなゆたふれんせとて今あひ
わつたりのわらふれんせとて今あひ
を候ていしあのまてん
かありしあのまてん
たをよとていしあのまてん
別とあつていしあのまてん
吹雷心あつていしあのまてん
かありしあのまてん
天無しとていしあのまてん
あつていしあのまてん
いしあのまてん
あつていしあのまてん
あつていしあのまてん
あつていしあのまてん
あつていしあのまてん

うつろひてまゝにせんがゆゑに
 りんごのての身は体のりたのり
 はうちのてのまゝにせんがゆゑに
 のりてまゝにせんがゆゑに
 成のりてまゝにせんがゆゑに
 等々の事つてはせんがゆゑに
 とれとせんがゆゑに

三之巻終

○ひのけつ後目録 他者
 其後

自笑樂日記 全部五冊

豫倉諸藝袖日記 全部五冊

當世行次才 全部五冊

浮世親仁形氣 全部六冊

傾城曲三味線 全部六冊

傾城色三味線 市編 全部六冊

傾城卯子酒 後編 全部五冊

傾城禁短氣 全部六冊

傾城禁短氣 前編 全部五冊

傾城禁短氣 二 全部六冊

